

全ての人が一体となった持続可能で元気な浜田市

まちづくり コーディネーター通信

第18号 令和8年6月末発行

目次

- P1. 令和8年度まちづくりコーディネーターの活動
うぶゆネットワーク設立準備委員会
- P2. 課題解決特別事業の目指すところ
活動報告 小国まちづくり委員会(金城地域)
- P3. 【特集】地域のやってみたいを後押しする(旭地域)
【特集】まちづくり計画を進めるうえで工夫点(三隅地域)
- P4. 浜田市総合防災訓練:広域のまちづくりと自主防災(石見地域)
コーディネーターのつばやき



繋がるうぶゆの



令和

8年度

まちづくりコーディネーターの活動

活動をはじめて6年目となる令和8年度。地区まちづくり推進委員会の活動推進や設立促進に関する活動などに取り組みます。



佐々木 大屋 吉本

1 まちづくり推進委員会の設立

◆地域の未来を一緒に考える会議や事業をサポート◆

地域の実情やそこに住む人びとの思いを形にしていくプロセスを大切に一步ずつ前に進めています。設立を目指す町内会等を引き続き支援します。

2 まちづくり活動推進

◆地域でのイベントや取り組みを応援◆

地域でのまちづくり計画策定やイベントに参加し、地域の活動がスムーズに進むように、一緒に考え支援をしています。直接、地域住民の声が聞ける貴重な時間になっています。

3 コーディネーター活動情報発信

◆地域のがんばりを広報◆

「他地域のまちづくり活動が知りたい」という声を受け、積極的に各まちづくり運営の様子や事業を広報します。工夫点や役立つ情報を共有し、まちづくり相互の交流につなげます。

まちづくりコーディネーター通信は浜田市のHPで見ることができます。

浜田市まちづくりコーディネーター

[Instagram]
フォローお願いします



おしゃべりモルックランチで交流会

～うぶゆネットワーク(地区まちづくり推進委員会)設立準備会～

6月14日(日)長沢サブセンターを会場に開催された、「おしゃべり×モルック×ランチ～繋がるうぶゆの和～」

これは、生湯町の皆さんが楽しく交流する中で、人と人とのつながりづくり(まちづくり)を考えてもらえるよう、うぶゆネットワーク設立準備会が企画したものです。代表の古和裕二さんが「役員の私たちも楽しみながら生湯の皆さんと交流しましょう。」とスタッフに声掛けをされてスタート。

生湯町全町内から約50人の参加がありました。昨年度雨天で中止となったモルック(軽スポーツ)のリベンジで、4コート12チームが熱戦を繰り広げました。

モルックの後は、おしゃべりタイム。『こんな生湯町になったらいいな!』と、意見交換を行いました。

今回の事業では、「あいのりタクシーおためし版」を運行し、移動手段についてみんなで考え体験する機会にもなりました。手作りカレーの会食時には、「サロンの参加にあいのりタクシーを利用したい。」と話が続き、終始笑顔があふれていました。



今年度も始まりました！

選考基準

令和8年度 浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業

参考：浜田市HP（課題解決特別事業）から

浜田市まちづくり総合交付金の「課題解決特別事業」は、地区まちづくり推進委員会が実践する地域づくり活動で、喫緊の課題を解決するために取り組む活動を支援する制度として平成28年度から実施しています。

交付額は取り組む事業によって金額が異なり、最大200万円まで。補助率は10/10（100%）です。「課題解決特別事業」の採択は、公平・公正を期すため、「課題解決特別事業選考委員会」で書類又はヒアリングによる選考を実施し決定します。

今年度第1回目の選考は5月27日（水）に行われ5団体が決定しました。



必要性

- ① 私たちのまちづくりはどんな状態かな？
- ② 自分たちで解決できるものかな？
- ③ 多くの人の共通の困りごとになっている？
- ④ 多くの人の参加や協力はできてる？



具体性

- ① 目標は住民に共感してもらえるものかな？
- ② 成果をイメージしたものになっている？
- ③ 内容が具体的になっているかな？
- ④ 収支予算が明確で現実的なものかな？
- ⑤ ハード事業は活動内容とマッチしてる？



継続性

- ① 事業継続が体制的・コスト的に検討されてる？
- ② 市民参加の工夫・他機関との連携・活動への将来的期待度はどう？

まちづくりセンターなどの関係機関とつながると活動の幅が広がるね！



金城活動報告

令和7年度

浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業

小国まちづくり委員会

植樹地を「桜公園」として守り維持する活動

小国の春を彩る「神代曙」(ジンダイアケボノ)の桜公園が、令和7年度浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業により維持保全活動が行われ、小国地区のお花見処として改めて注目され地域の価値観を創出しています。



平成25年、小国健全会（高齢者クラブ）により植樹された50本余りの桜公園には、今回の事業により新たに看板や、ベンチ、テーブルが新設され、地域課題と向き合った成果がカタチとなりました。関わった住民の盛り上がりも溢れていました。桜公園までの道の整備等“これから”にも期待が膨らみます。健全会会長さんは、「住民同士のつながりと関わりの深まりが成果」と今回の活動を笑顔で振り返りました。



1 必要性

関係人口を増やす交流の場として整備が必要

2 具体性

世代間の絆が生まれる住民同士が繋がる

3 継続性

公園までの道路整備
交流会の開催
生きがいの持続

【特集】
和田が
おもしろい

地域の **やってみたい** を後押しする 和田地区まちづくり推進委員会

和田地区まちづくり推進委員会では、『地域活性化公募事業』として地域住民の「やってみたい！」を応援しています。浜田市まちづくり総合交付金が地域住民発想のまちづくり事業の実現に柔軟に活用され、地域への愛着と誇りが醸成されています。

こんな取り組みです！

和田地区まちづくり推進委員会の総務企画部の事業で4年目を迎えました。『みんなのアイデア募集』に応募した事業は、同推進委員会で応募者プレゼンテーションをはじめ、慎重に審査され10万円を上限として採択されます。



募集要項 & 企画書

個々のアイデアを実現！

これまでの採択は、【地域内の耕作放棄地に植樹をして景観を再生したい】、【ジムで軽運動をしたい】などがあります。こうした地域住民の発想の具現化は、地域課題を他人ごとから自分ごとに変える原動力となり、地域活動への関心を高めています。



耕作放棄地に花桃と桜を植樹

やってみて感じたこと

応募数が右肩上がりとはいえませんが、役員会議で出た話題が地域の中に行き渡り、人と人とのつながりが生まれることで、地域住民の「やってみたい」の気持ちや挑戦を後押ししていきます。



軽運動器具の設置

【特集】
まちカツ!みすみ

まちづくり計画 を策定するうえでの **工夫点**

令和8年度から第4次三隅地区まちづくり計画がスタートしました。「みんなで作りあげる！」を合言葉に取り組んだ計画づくりを紹介します。

どのようなまちづくりになってほしいかを柱に！ ~みらいの種をまき、まなびの庭で共に、あんしんの樹を育てよう~

笑顔で安心！誰もが主役のまちづくり

point 1! 想いを取りこぼさない工夫

- ★嫌にならない会議の持ち方を工夫し情報を共有
『小委員会』から→『策定委員会』へ→『全体会』で最終決定をする手順により、みんなが関わることができました。
- ★会の名称を住民から募り一体感の醸成
住民投票ののち、まちづくりフェスタで名称発表！みんなで作り上げる効果がUPしました。

point 2! ストーリー性を持たせた部会活動の工夫

- ★部会活動のイメージのしやすさ
部会名が優しい表現になり子どもが見ても理解できる内容になっています。

point 3! 世代や地区の垣根を越えた工夫

- ★役員以外の誰もが入りやすいまちづくりへ
- ★部会の壁をとりはらい他部会の活動に行き来できる
役員も興味がある活動に参加ができ、人の流れを活発にする仕組みが画期的です。

サポーター登録は



みらいの種



高齢者への生活支援や地域ぐるみの子育てなど

まなびの庭



趣味スポーツ文化など学びを通じた人とのつながり

あんしんの樹



地域防災力の向上や安全安心の住環境



広域のまちづくりと自主防災 みはし地域まちづくりネットワーク

広大な範囲のみはし地域まちづくりネットワークでは、6月7日(日)浜田市総合防災訓練にあわせ、10団体の自主防災組織が防災訓練を行いました。まちづくり会長兼相生町2-2町内会長の小川 寛さんに「広域のまちづくりと自主防災」について伺いました。

相生町内 自主防災会 × 国土交通省

みはしの活動の考え方



「みはしは、エリアが広いため中山間地と市街地では起きやすい災害の種類や町内会の実情も様々です。生活の実態に合わせた防災活動が求められます。」

防災訓練は10ある自主防災会が個別に行うことで防災に対する意識を自主防災会エリアの皆さんに促しやすくなります。また、研修やイベントなどは、みはし全体で行い、人材の発掘や中山間と市街地のコミュニティづくりにつなぐことができます。

今回、相生町2町内が国の機関と合同訓練を行うという稀に見る体験ができたことに、行政のご理解とご協力に感謝いたします。と、共に自助や共助、公助といった役割を分担しながら防災訓練を続けていくことが大切だと考えます。」



国土交通省内部の見学



危険箇所確認ウォーキング

コーディネーターのつぶやき

大屋 マサ子

「温故知新」や「不易流行」など味わえる「お年ごろ」です。

特に、「不易流行」は生涯学習・社会教育の第一人者である牧野篤博士の講演で出遭い「お年ごろ」に刺されました。

『伝統も守りつつ地域が続く事こそが大切。つまり変わらない為には変わり続けなくてはならない。変わり続ける為の難儀はみんなできり分け、一人ひとりが少しの負担を引き受ける。面倒くささをも愉しむ』という文脈での牧野博士の「不易流行」でした。

「不易」=変わらない本質・理念、「流行」=変化・進展、この二つを相反するものでは無いと断じる世界観に頷けたのは「お年ごろ」故でしょう。愛着ある伝統や慣習といった「不易」は守り、時代の変化に相応したニーズや情勢といった「流行」を取り入れ続けていく過程こそが日々の「まちづくり活動」と言われるものかも知れません。

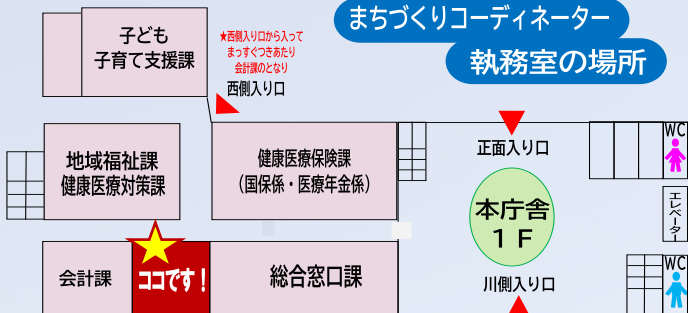
地域に吹く新たな風を自分なりに愉しみましょう♪

不易を知らざれば基立ちがたく

流行を知らざれば風新たならず

松尾芭蕉

まちづくりコーディネーター 執務室の場所



浜田市地域政策部 まちづくり社会教育課

【電話】 0855-25-9201
0855-25-9007
(まちづくりコーディネーター執務室)

【FAX】 0855-23-1866

【メール】 machizukuri@city.hamada.lg.jp

【依頼申請コード】

